

様式第5号(第8条関係)

煙火消費場所状況チェックリスト

大会名 _____ 年 月 日

点検責任者氏名 _____ 確認時刻 午前・後 時 分

| 点検項目 | 内容 | 適 | 否 | 措置 | 点検者 |
|---------|---|---|---|----|-----|
| 消費場所の位置 | 保安距離は適正か。 | | | | |
| | 煙火置場、打揚げ場所及び仕掛煙火は配置図(申請)のと通りの位置か。 | | | | |
| 筒の設置場所 | 打揚げ筒の設置場所の地盤が軟弱で発射振動により沈下したり、傾くおそれがないか。 | | | | |
| | 足場は滑りやすすくないか。傾斜地等無理な姿勢で行うことはないか。 | | | | |
| 筒の設置方法 | 筒は丈夫なロープ等により、2箇所以上堅固に固定されているか。 | | | | |
| | 筒はきれいに清掃され、損傷又は変形がなく、紙筒は吸湿等の異常はないか。 | | | | |
| 煙火置場の場所 | 設置場所が軟弱又は多湿の場合、下に枕木、木板等を敷く等の措置を講じているか。 | | | | |
| | 打揚げ筒等の設置場所から20m以上離れているか。 | | | | |
| 煙火置場の構造 | 消費中の煙火の出し入れ、火薬の計量等がある場合、煙火置場を設置しているか。 | | | | |
| | 火の粉等が容易に侵入しない構造か。 | | | | |
| | テント張りの場合、その生地は難燃性で垂れは地面に十分達し、隙間はないか。 | | | | |
| | 置場内は確実にふたのできる容器で、かつ、厚手のシート等で十分覆っているか。 | | | | |
| | 出入口は打揚げ筒等の設置場所と反対方向か。 | | | | |

| | | | | |
|----------------|---|--|--|--|
| | 車両を煙火置場とする場合、エンジンを停止し、車輪を固定させてあるか。 | | | |
| | 煙火置場の周囲には「立入禁止」、「火気厳禁」等の警戒標示がなされているか。 | | | |
| | 船上での煙火消費で、筒から20m未満にある煙火置場には適切な防護措置をしているか。 | | | |
| 煙火玉、 打揚げ煙火等 | 煙火玉の導火線の吸湿又は損傷はないか。また、煙火玉等に異常はないか。 | | | |
| | 打揚げ薬は規定どおり適量であり、適切な装てん方法か。また、入れ忘れはないか。 | | | |
| | 打揚げ火薬は吸湿していないか。 | | | |
| | 筒から20m未満での点火の場合、畳床等の防護措置がなされているか。 | | | |
| | 筒から5m未満での点火の場合、他の点火者の筒から2m以上離れているか。 | | | |
| | 煙火の収納容器の位置、ふた、覆い等の防護方法は適切か。 | | | |
| | 点火者の人数に対応した数か。また、申請書記載従事者に変更はないか。 | | | |
| | 電気点火の場合、配線、点火器の能力及び全抵抗値について問題はないか。 | | | |
| スター マイン | 全体の重量を増し、杭、土のう等で全体を安定させているか。 | | | |
| 枠物等 | 固定は確実か。 | | | |
| | 滝、枠仕掛けから20m以内で他の煙火を消費する場合、滝、枠仕掛けから関係人は20mを超える距離をとっているか。 | | | |
| 小型煙火 | 周囲を緊縛し、固定されているか。 | | | |
| 運搬中 | ふた、防火シート等の覆いを十分してあるか。 | | | |
| 火災予防等 | 事故が発生した場合の措置が定められ、徹底されているか。 | | | |

| | | | | | |
|-------|------------------------------------|--|--|--|--|
| | 消費場所の周囲に可燃物はないか。また、消火用水等が設置されているか。 | | | | |
| 盗難防止 | 煙火を存置している間の見張りは万全か。 | | | | |
| 警戒体制等 | 申請どおりに立看板及び見張り人が配置されているか。 | | | | |
| | 立入禁止区域内に人が入り込んでないか。 | | | | |
| | 警備本部と、打揚げ現場及び警備員との連絡手段が確保されているか。 | | | | |